

たて続けに「実動対抗演習」強行 第3回(8/23~29)に続き 第4回(9/8~14)も

陸上自衛隊北海道訓練センター実動対抗演習(第3回)が、8月23日から29日までの予定で実施中です。

事前準備・教育という名目で、370人もの自衛官が、新装なった別海町生涯学習センター「みなくる」を8/16~20の5日間、我が物顔に使用しました。時間によっては施設内のトイレで長蛇の列をなすなど、コロナ感染拡大の中、極めて異常で危険な事態が発生しています。

第3回演習に続き、第4回演習を実施するとの通知が別海町からありました。期間は9月8日から14日まで。第2師団(司令部；旭川市)900人、第13旅団(司令部；広島県海田町)930人、訓練評価支援隊650人、計2480人による大規模演習です。

第3回と同様、370人の隊員が9/4~9/7の間「みなくる」を使用することになっています。

①新型コロナウイルス感染第7波は収まっておらず、日本列島、北海道を縦断して大量の自衛官、車両が移動することは危険である。②コロナ禍に加え物価高騰のおり、国民救済のために予算を使うべきであり、演習で多額の予算を浪費することは許されない。③アジアの軍事的緊張をこれ以上作ってはならない。

異常で危険な自衛隊演習に対し、抗議の声を上げていきましょう。

海兵隊移転訓練反対釧根連絡会、開催(8/21)

21日、矢白別D型ハウスにおいて「海兵隊移転訓練反対釧根連絡会」が開催され、釧労連、釧路教組、根室教組、矢白別平和委員会、海兵隊移転反対別海町連絡会、釧路平和委員会、道東勤医協労組の代表が参加して、秋から冬にかけてのとりくみについて協議しました。協議の概要です。

●会の名称を変更する。(海兵隊訓練だけでなく日米共同訓練の監視活動なども行ってきた。米軍がらみの演習訓練に抗議し監視する活動をしているのでそれにふさわしい名称にしたい) 具体的には次回会議で。

●今後の活動 ◆9~10月…日米共同訓練(レゾリュート・ドラゴン)オスプレイなど監視 ◆1~2月…海兵隊移転訓練の監視

●オスプレイ監視については、全道的な監視のネットワークと連絡網の構築が重要。海兵隊訓練では、ハイマースの持ち込み等しっかり監視する(釧路港)。

●「平和フォーラム釧路」に連携・共闘を呼びかける。

スタンディング 8/29(月)13:00~13:30 西春別駅前セコマ向かい

9月例会…9/3(土)13:30~矢白別D型ハウス